

1 次期健康増進計画の概要(案)

資料 1

名 称 青森市健康寿命延伸計画（第2次）とする。

計画期間 令和6年度から令和10年度（5か年計画）

重点取組

- ①市民のヘルスリテラシー（健康教養）の向上
- ②生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
- ③社会環境の質の向上

目標値設定 の考え方

- ①現計画における取組の成果や課題を踏まえつつ、第三次青森県健康増進計画及び健康日本21（第三次）のほか、次期青森市総合計画や青森市自殺対策行動計画などの他計画や施策との整合性を図る。
- ②定期的に進捗を把握できるよう、公的統計もしくは市で継続して入手可能なデータで評価する。

スケジュール

令和6年1月 市民アンケート
3月 地域保健専門分科会（2回目）
（健康データ分析とアンケート集計結果に基づいた現状と課題の整理、基本方向の審議）
7月 地域保健専門分科会（3回目）
（次期計画素案審議）
8月～9月 わたしの意見提案制度（パブリックコメント）
9月 地域保健専門分科会（4回目）
（次期計画案承認）
10月 青森市健康寿命延伸計画（第2次）策定

2 青森市健康寿命延伸計画 指標の達成状況

各指標における最終評価は参考資料1を参照

		A 目標達成	B 改善傾向	C 変わらない	D 悪化傾向	E 評価困難	計
第1章	市民のヘルスリテラシー（健康教養）の向上	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
第2章	生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	4 (12.5%)	10 (31.3%)	0 (0.0%)	18 (56.3%)	0 (0.0%)	32 (100.0%)
	【重点取組】生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	4 (20.0%)	5 (25.0%)	0 (0.0%)	11 (55.0%)	0 (0.0%)	20 (100.0%)
	健診・検診の充実	0 (0.0%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)
第3章	生涯を通じて健康であるための生活習慣づくり	2 (8.3%)	15 (62.5%)	0 (0.0%)	7 (29.2%)	0 (0.0%)	24 (100.0%)
	栄養・食生活	0 (0.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	5 (100.0%)
	身体活動・運動	0 (0.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
	休養	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
	飲酒	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
	【重点取組】喫煙	2 (25.0%)	6 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)
	歯・口腔の健康づくり	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)
第4章	社会生活を営むために必要な心身の機能の維持・向上	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
	子どもの健康づくり	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
	高齢者の健康づくり	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
	こころの健康づくり	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
第5章	社会における健康づくり運動の促進と健康を支え守るための環境づくり	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
	社会全体で支える健康づくり	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
計		8 (12.5%)	30 (46.9%)	0 (0.0%)	26 (40.6%)	0 (0.0%)	64 (100.0%)

評価区分	考え方	評価状況
A 目標達成	現状値が目標値を達成	8指標(12.5%)
B 改善傾向	目標値には達成しないが、計画策定時の値より改善	30指標(46.9%)
C 変わらない	現状値が計画策定時と変わらない	0指標
D 悪化傾向	現状値が計画策定時の値より悪化	26指標(40.6%)
E 評価困難	データがないため評価が困難	0指標

→ A+B=59.4% 概ね改善傾向

■悪化した主な指標

- ・メタボ該当者・予備群割合(男性・女性・全体)・高血圧の割合(男性・女性・全体)
- ・空腹時血糖割合(男性・女性・全体)・がん検診受診率(国保受診者)・小5(男子・女子)肥満児割合
- ・(男性・女性)飲酒(リスクを高める量)

各指標の評価状況

参考資料 1

A 目標達成 B (現時点で目標値に達していないが)改善傾向 D 悪化傾向

章	主な取組ごとの目標指標項目・目標値数				項目	H26計画策 定時の値	R5目標値	R4現状値	最終評価	データソース
	基本方向	主な取組	項目数	目標値数						
第1章	市民のヘルスリテラシー (健康教養)の向上		1	1	健康づくりサポーター数(累計)	(H25)72人	395人	374人	B	健康づくり推進課調べ
			2	2	健康づくりリーダー数(累計)	(H25)0人	246人	238人	B	
			3	3	健康講座等健康教育総参加者数	11,516人	27,000人	8,741人	D	
第2章	生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	【重点取組】 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	4	4	がん標準化死亡比(男性)	122.6	118.9	(R3)110.9	A	青森県保健衛生統計
				5	がん標準化死亡比(女性)	113.6	110.3	(R3)116.0	D	
			5	6	脳血管疾患標準化死亡比(男性)	145.2	100	(R3)106.1	B	青森県保健衛生統計
				7	脳血管疾患標準化死亡比(女性)	121.2	100	(R3)101.9	B	
			6	8	心疾患標準化死亡比(男性)	130.9	100	(R3)105.4	B	青森県保健衛生統計
				9	心疾患標準化死亡比(女性)	124.1	100	(R3)99.2	A	
			7	10	メタボ該当者・予備群割合(男性)	44.9%	32.3%	51.9%	D	特定健診・特定保健指導実施結果法定報告
				11	メタボ該当者・予備群割合(女性)	18.4%	13.2%	20.9%	D	
				12	メタボ該当者・予備群割合(全体)	28.8%	20.7%	33.8%	D	
			8	13	高血圧の割合(男性)	29.0%	20.9%	29.9%	D	特定健康診査データ管理システム
				14	高血圧の割合(女性)	21.9%	15.8%	24.6%	D	
				15	高血圧の割合(全体)	24.7%	17.8%	26.9%	D	
			9	16	脂質異常症割合(男性)	10.9%	7.8%	7.0%	A	特定健康診査データ管理システム
				17	脂質異常症割合(女性)	14.2%	10.2%	10.8%	B	
				18	脂質異常症割合(全体)	12.9%	9.3%	9.2%	A	
			10	19	糖尿病標準化死亡比(男性)	159.2	100	(R3)153.4	B	青森県保健衛生統計
				20	糖尿病標準化死亡比(女性)	119.8	100	(R3)155.8	D	
			11	21	空腹時血糖割合(男性)	23.4%	16.8%	27.0%	D	特定健康診査データ管理システム
				22	空腹時血糖割合(女性)	11.3%	8.1%	13.9%	D	
				23	空腹時血糖割合(全体)	16.1%	11.6%	19.4%	D	
		健診・検診の充実	12	24	特定健康診査受診率	33.9%	60.0%	37.2%	B	特定健診・特定保健指導実施結果法定報告
			13	25	特定保健指導を受けた方の割合	25.9%	60.0%	47.9%	B	
			14	26	胃がん検診受診率(国保受診者)	(H30)20.8%	27.4%	16.0%	D	健康づくり推進課調べ
				27	肺がん検診受診率(国保受診者)	(H30)11.5%	20.1%	10.7%	D	
				28	大腸がん検診受診率(国保受診者)	(H30)25.4%	26.3%	19.7%	D	
				29	乳がん検診受診率(国保受診者)	(H30)16.3%	22.8%	15.2%	D	
				30	子宮頸がん検診受診率(国保受診者)	(H30)12.1%	21.3%	11.6%	D	
			15	31	胃がん精密検査受診率	(H23)80.8%	100	(R3)77.8%	D	健康づくり推進課調べ
				32	肺がん精密検査受診率	(H23)85.3%	100	(R3)96.2%	B	
				33	大腸がん精密検査受診率	(H23)73.1%	100	(R3)63.2%	D	
				34	乳がん精密検査受診率	(H23)92.0%	100	(R3)94.5%	B	
				35	子宮頸がん精密検査受診率	(H23)73.3%	100	(R3)89.2%	B	
第3章	生涯を通じて健康であるための生活習慣づくり	栄養・食生活	16	36	40～64歳男性肥満者の標準化比	(H30)111.8	100	107.4	B	国保データベース(KDB)
				37	40～64歳女性肥満者の標準化比	(H30)128.3	100	135.2	D	
			17	38	食べる速度が速い男性の標準化比	(H30)107.8	100	104.9	B	特定健康診査データ管理システム
				39	食べる速度が速い女性の標準化比	(H30)121.8	100	118.3	B	
			18	40	健康づくり応援店舗数(累計)	0店舗	350店舗	145店舗	B	健康づくり推進課調べ
		身体活動・運動	19	41	小5男子肥満児割合	15.4%	12.2%	18.1%	D	スポーツ庁 「新体カテスト」
				42	小5女子肥満児割合	9.3%	8.5%	10.3%	D	
			20	43	運動習慣がない男性の標準化比	(H30)105.0	100	105.2	D	国保データベース(KDB)
				44	運動習慣がない女性の標準化比	(H30)107.9	100	107.4	B	
		休養	21	45	40～74歳 睡眠による休養が不十分	(H30)22.3%	15.6%	22.5%	D	特定健康診査データ管理システム
		飲酒	22	46	妊娠中飲酒	5.1%	0%	0.7%	B	妊婦連絡票
			23	47	男性飲酒(リスク高める量)	25.8%	21.9%	27.6%	D	特定健康診査データ管理システム
				48	女性飲酒(リスク高める量)	14.6%	12.4%	17.2%	D	
		【重点取組】 喫煙	24	49	妊娠中の喫煙割合	5.0%	0%	1.8%	B	妊婦連絡票
			25	50	同居家族の喫煙(4か月児)割合	4.1%	0%	1.6%	B	乳幼児健康診査問診票
				51	同居家族の喫煙(1歳6か月児)割合	7.1%	0%	3.3%	B	
				52	同居家族の喫煙(3歳6か月児)割合	10.8%	0%	4.8%	B	
			26	53	未成年男子の喫煙割合	(H23)14.3%	0%	0.0%	A	市民意識調査
				54	未成年女子の喫煙割合	(H23)13.3%	0%	0.0%	A	
			27	55	成人喫煙率 男性	(H23)28.6%	17.8%	24.4%	B	市民意識調査
				56	成人喫煙率 女性	(H23)13.5%	8.4%	8.5%	B	
		歯・口腔の健康づくり	28	57	う歯のない幼児(1歳6か月児健診)割合	97.3%	100%	98.8%	B	あおもり親子はぐくみブラザ調べ
			29	58	う歯のない幼児(3歳児健診)割合	76.8%	90.0%	88.6%	B	健康づくり推進課調べ
			30	59	歯周疾患検診の受診率	8.3%	15.8%	10.8%	B	
第4章	社会生活を支えるための機能の向上	子どもの健康づくり	31	60	低出生体重児(2,500g未満)の割合	10.5%	9.0%未満	8.3%	A	あおもり親子はぐくみブラザ調べ
			32	61	乳幼児健康診査の受診率	(H29)97.9%	100%	98.9%	B	あおもり親子はぐくみブラザ調べ
		高齢者の健康づくり	33	62	65歳以上のロコモ認知割合	(R1)22.7%	26.6%	28.8%	A	青森市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
		こころの健康づくり	34	63	自殺者の割合	21.6	14.8	20.9	B	厚生労働省人口動態統計
第5章	※	【重点取組】社会全体で支える健康づくり	35	64	健康づくり実践団体数	9団体	38団体	14団体	B	健康づくり推進課調べ

※社会における健康づくり運動の促進と健康を支え守るための環境づくり

3 全体に対する最終評価

- ・「市民のヘルスリテラシー（健康教養）の向上」及び栄養・食事や重点取組としていた喫煙を含む「生涯を通じて健康であるための生活習慣づくり」は一定の成果を上げることができた。
- ・一方で、重点取組の「生活習慣病の発症予防と重症化予防」については、半数が「悪化傾向」であり、メタボ該当者・予備群割合及び空腹時血糖割合、高血圧の割合は増加している。一次予防における生活習慣の改善がみられるものの、生活習慣病の発症予防や重症化予防には至っていないことから、より実効性のある取組を強化していく必要がある。
- ・がん検診受診率については、一部改定を行った令和2年度（実績は平成30年度を参考）以降、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診控えにより、受診率が伸び悩んでおり、現在は回復傾向にあるものの目標値に至っていない。今後、更なる受診率向上に向けた取組を推進していく必要がある。
- ・平均寿命は、令和5年5月公表の「令和2年市区町村別生命表」と計画策定時（平成25年7月公表の「平成22年市区町村別生表」）を比較し、男性は3.4歳、女性は1.0歳延伸した結果となったが、依然として全国を下回る水準にあることから、健康になるための環境づくりや場づくりなど多様なアプローチを通じて更なる健康寿命延伸に向けた取組を展開していく必要がある。

平均寿命の状況(市区町村別生命表より)

＜男性＞	令和 2年 令和 5年 5月公表	平成22年 平成25年7月公表	＜女性＞	令和 2年 令和 5年 5月公表	平成22年 平成25年7月公表
自治体数	1,887市区町村	1,898市区町村	自治体数	1,887市区町村	1,898市区町村
市	79.9歳（3.4歳※） 〔全国ワースト90位 県内上位1位〕	76.5歳 〔全国ワースト4位 県内最下位〕	市	86.2歳（1.0歳※） 〔全国ワースト31位 県内上位24位〕	85.2歳 〔全国ワースト58位 県内上位24位〕
青森県	79.3歳	77.3歳	青森県	86.3歳	85.4歳
国	81.5歳	79.6歳	国	87.6歳	86.4歳

※平成25年7月公表の「平成22年市区町村生命表」からの伸び幅

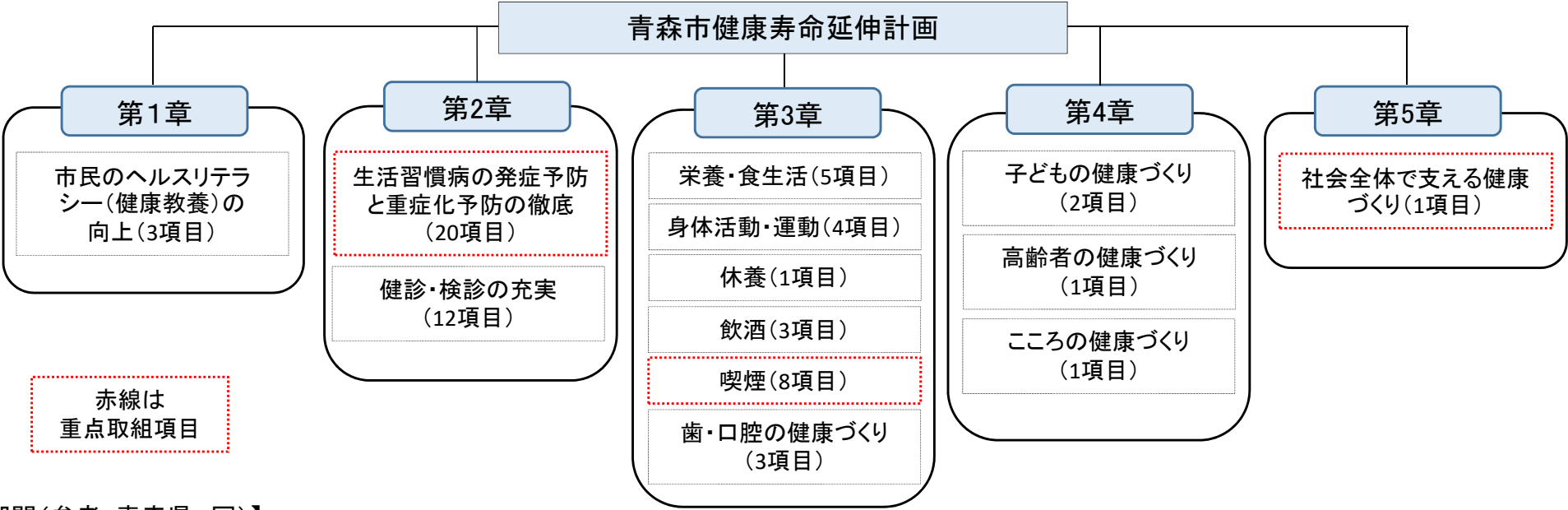
本市の健康寿命(※)の推移

	令和 2年	平成22年	差 (推移)		令和 2年	平成22年	差 (推移)
男性	78.27年	74.97年	3.30年	女性	83.41年	82.08年	1.33年

※健康寿命は、厚生労働科学研究「健康寿命の算定表」シートより市で算定したもの

青森市健康寿命延伸計画について

- 健康増進法第8条第2項に基づく市町村健康増進計画
- 青森市総合計画の個別計画
- 市民の健康づくりの更なる充実を図り、ひいては短命市返上につなげるため、計画期間を平成26年度から令和2年度とする「元気都市あおもり健康づくり推進計画」を平成26年10月に策定（35指標62項目）
- 青森市総合計画前期基本計画の計画期間と終期を合わせ、一部文言や目標とする指標等の修正・追記を行う一部改定を行い、施策の方向性が分かるよう、計画名を「青森市健康寿命延伸計画」に改め、計画期間の終期を令和5年度まで延長（35指標64項目）



【計画期間（参考：青森県、国）】

	計画の名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度～
市	青森市健康寿命延伸計画				次期計画
県	健康あおもり21（第2次）				次期計画
国	健康日本21（第二次）				次期計画

R4年10月 最終評価 R5年12月 最終評価 R5年12月末以降 最終評価